

第3期大野市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画) 【概要版】

大野市地域づくり部市民生活・統計課

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされました。

被保険者の健康増進のため、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施により、保険者は、保有しているデータを活用しながら、ポピュレーションアプローチから重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていくことが求められています。本市においては、今後さらに効果的に保健事業を推進していくため、「第3期大野市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)」を策定します。

1 計画の位置づけ

上位計画として「第六次大野市総合計画」があり、健康づくりの計画である「越前おおの健康づくり計画 第4次健幸おおの21」、「第4次福井県医療費適正化計画」、保健事業の中核をなす特定健康診査(特定健診)及び特定保健指導の具体的な実施方法を定める「第4期大野市特定健康診査等実施計画」と整合性を図ります。

2 計画の期間

令和6年度から令和11年度までの6カ年とします。

また、「第4期大野市特定健康診査等実施計画」と計画期間を合わせ一体的に策定します。

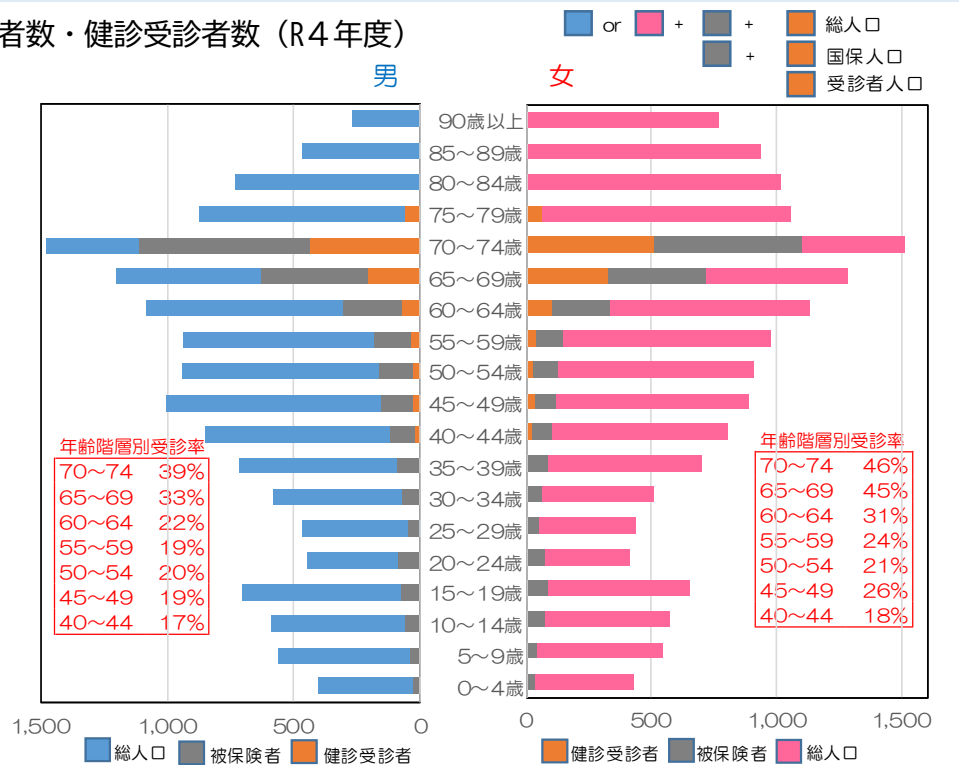
3 現状分析と課題

大野市の年齢階層別人口・被保険者数・健診受診者数 (R4年度)

本市の人口は毎年減少傾向であり、高齢化率は上昇しています。

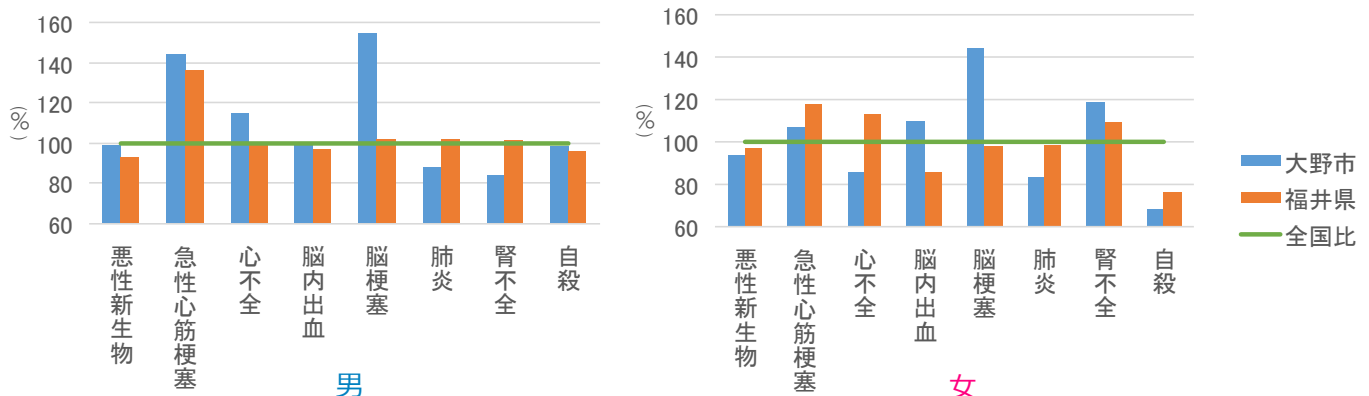
人口は、40歳～74歳で約半数を占めており、国保被保険者数については、70歳～74歳が最も多く、40歳以上の被保険者で全体の約85%を占めています。

平成25年～29年の標準化死亡比をみると、本市の死亡原因のうち、全国(全国=100)より高いのは、男性では「脳梗塞」「急性心筋梗塞」「心不全」で、女性では、「脳梗塞」「腎不全」「脳内出血」の順になっています。男女とも「脳梗塞」が高く、全国及び県との差も大きくなっています。



【出展】: 特定健診等データ管理システム/健診結果情報ファイル(R4年度確定版)

大野市の標準化死亡比 (H25～29年)

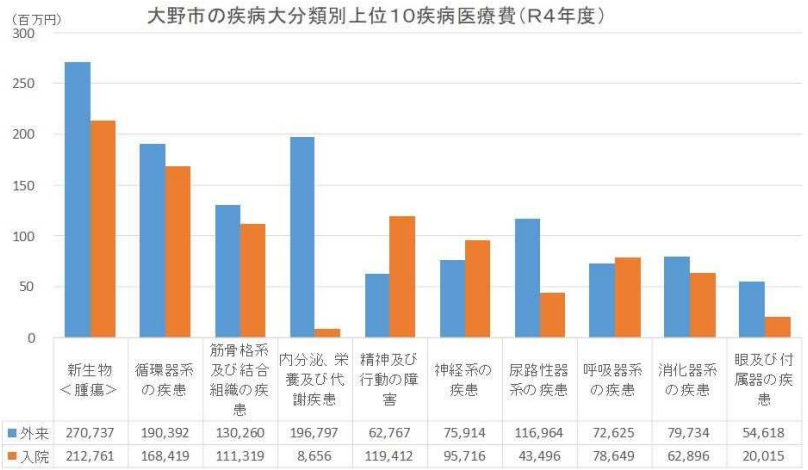


疾病大分類別上位10疾病医療費（R4年度）

疾病ごとの医療費では、平成30年度から令和4年度のすべての年度で、「新生物」が一番高く「循環器系の疾患」が二番目となっています。

次いで、「内分泌・栄養及び代謝疾患」及び「筋骨格系及び結合組織の疾患」が高くなっています。

入院・外来別の医療費を疾病大分類で比較すると、入院医療費が最も高いのは、「新生物」次いで「循環器系の疾患」の順になっています。外来医療費では、「新生物」次いで「内分泌、栄養及び代謝疾患」の順になっています。



保険者別1人当たり医療費（R3年度：R3.3～R4.2診療分）

順位	保険者	1人当たり医療費(円)
1	美浜町	480,136
2	おおい町	462,970
3	若狭町	461,752
4	あわらし市	455,803
5	越前町	450,753
6	敦賀市	443,664
7	池田町	443,609
8	勝山市	442,503
9	永平寺町	439,690
10	越前市	429,692
11	坂井市	429,645
12	大野市	425,706
	県平均	419,406
13	福井市	417,394
14	南越前町	406,003
15	小浜市	403,313
16	高浜町	398,968
17	鯖江市	395,970

【被保険者】

順位	保険者	%
1	南越前町	62.67
2	池田町	60.39
3	勝山市	59.57
4	美浜町	59.32
5	大野市	57.75
6	越前町	57.24
7	あわらし市	57.10
8	永平寺町	56.80
9	おおい町	55.75
11	高浜町	54.43
12	坂井市	54.27
13	越前市	54.18
14	若狭町	53.77
15	敦賀市	53.45
	県全体	52.53
16	小浜市	51.97
16	福井市	51.06
17	鯖江市	50.94

高齢化率

【人口】

順位	保険者	%
1	池田町	44.51
2	南越前町	38.46
3	大野市	38.33
4	勝山市	38.13
5	若狭町	36.85
6	美浜町	36.81
7	越前町	36.34
8	あわらし市	34.83
9	小浜市	33.20
10	高浜町	33.07
11	おおい町	32.45
	県全体	31.12
12	永平寺町	30.42
13	敦賀市	30.02
14	越前市	29.92
15	福井市	29.76
16	坂井市	29.46
17	鯖江市	27.83

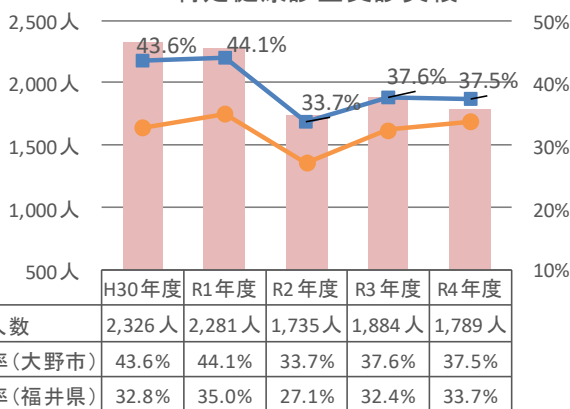
本市の令和3年度の一人あたり医療費は、425,706円で、県平均の419,406円を上回っており、県内の市町では高い順から12番目です。

令和3年度の医療費に影響する被保険者の高齢化率について本市は57.75%で、県全体の52.53%を上回っています。

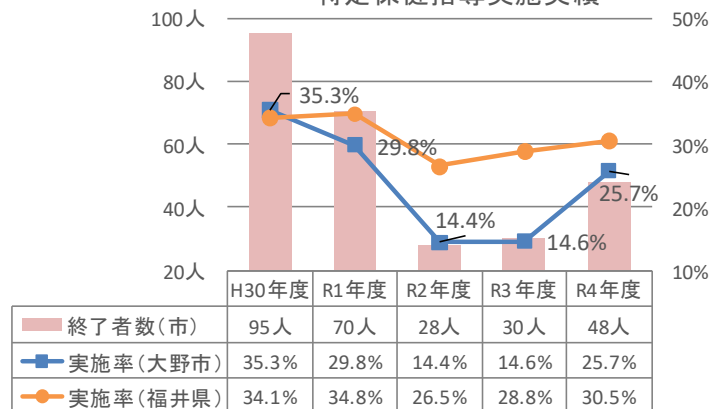
被保険者の高齢化が、一人当たり医療費を上げている原因のひとつと考えられます。

特定健診及び特定保健指導の結果

特定健康診査受診実績



特定保健指導実施実績



特定健診の受診率を平成30年度から令和4年度までの5年間推移で見ると、新型コロナウイルス感染症流行前の水準にはまだ戻っていませんが、県内の平均と比較すると高くなっています。

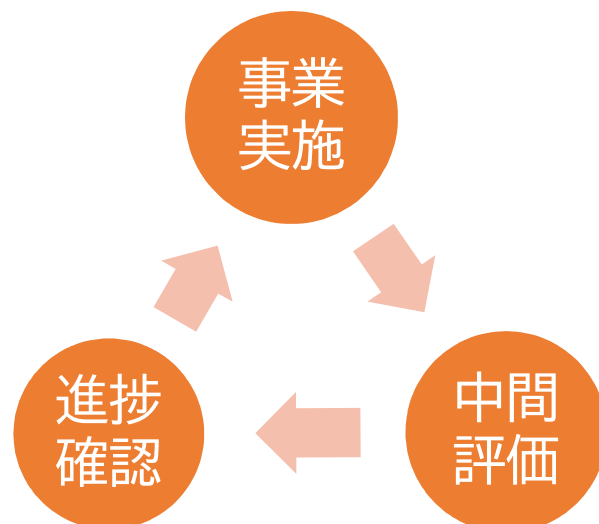
令和4年度の特定保健指導実施率についても新型コロナウイルス感染症流行前の水準にはまだ戻っていませんが、令和3年度と比較すると、11.1ポイント上がっています。特定保健指導実施率については、令和元年度以降、県の平均を下回っています。

その他の分析内容と健康課題

分析内容 (県標準化比に基づき分析)	健康課題
特定健診・特定保健指導等の健診データ(質問票を含む)の分析	<ul style="list-style-type: none"> 男女ともに中性脂肪、空腹時血糖、血圧が高い者の割合が高い 女性は、BMI、GPT、尿酸、eGFRの値が高い 運動習慣がない人の割合が高い 1日の飲酒量が1合以上の割合が高い 生活習慣改善に意欲のある人の割合が高い 生活習慣改善の取組みを6か月以上継続している人の割合が低い
レセプト・特定健診データ等を組み合わせた分析	<ul style="list-style-type: none"> 標準化死亡比は、脳血管疾患、次に心疾患が高い 医療費は、脳血管疾患、心疾患保有率が高い <p>⇒ 各疾患の発症予防のため、運動をはじめとする生活習慣改善が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> × 運動習慣がない ○ 生活習慣改善に意欲がある × 生活習慣改善の取組みを6か月以上継続できない
介護費関係の分析	<ul style="list-style-type: none"> 介護認定率は、要介護2以上が高い サービス利用率は、要介護2以上が高い 介護状況の悪化度は、県より低い 介護状態からの改善度は、県より低い年度がある

4 データヘルス計画(保健事業全体)の目的、目標、戦略

	目的	評価指標	目標を達成するための戦略
A	脳血管疾患、心疾患の標準化死亡比を下げる	脳血管疾患の標準化死亡比 (国を100とする)	ウォーキングプログラム等の活用を中心とした被保険者全体を対象とするポピュレーションアプローチの推進
		心疾患の標準化死亡比 (国を100とする)	
B	脳血管疾患のレセプト件数割合を県平均まで下げる	脳血管疾患保有者率	特定保健指導をきっかけとした生活習慣改善支援
	特定健診受診者のうち、医療の必要な人を確実に医療につなげる	HbA1c6.5以上の者のうち糖尿病のレセプトがない者の割合及びHbA1c8.0以上の者の割合	PDCAに沿った計画推進
C	被保険者の運動の習慣化	運動習慣のない者の標準化比 (県を100とする)	
D	特定健診受診者の生活習慣の改善	運動や食生活等の生活習慣の改善に取り組んでいる者の標準化比(県を100とする)	
	特定健診受診者の運動習慣の継続	運動や食生活等の生活習慣の改善に6か月以上取り組んでいる者の標準化比 (県を100とする)	



5 健康課題を解決するための個別の保健事業

1 市民対象の健康づくり政策（ウォーキングプログラム等）

目的	ウォーキング等を通じて運動習慣のある者の割合を増やす。 楽しくウォーキング等に取り組み、健康づくりを推進する。
対象者	本市に住民登録のある者

2 生活習慣病重症化予防事業

目的	糖尿病重症化リスクの高い医療機関未受診者が、適切な治療又は保健指導を受けることで将来的な腎不全、人工透析への移行を防止する。
対象者	国民健康保険加入者うち特定健診対象者（40歳～74歳） 過去5年間に特定健診を受診していて、次の①②に該当する者 ①【糖尿病】ア～ウのいずれかに該当 ア 空腹時血糖 126mg/dl 以上 イ 随時血糖 200mg/dl 以上 ウ HbA1c (NGSP) 6.5%以上 ②【慢性腎臓病】エ、オのいずれかに該当 エ 尿蛋白 2+以上 オ eGFR 45ml/分/1.73m ² 未満

3 健康相談・健康教育

目的	被保険者が、心身の健康に関する個別の相談を行うことで、適切な指導や助言を得て健康維持や管理ができるようになる。
対象者	本市に住民登録のある者

4 特定保健指導実施事業

目的	特定保健指導の実施率を上げて、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍を減少させることで被保険者の生活習慣病を予防し、健康寿命延伸を図る。
対象者	特定健診受診者で積極的支援、動機付け支援に該当する者 <ステップ1>（内臓脂肪蓄積のリスク判定） ①腹囲：男性85cm以上、女性90cm以上 又は ②①以外でBMI：25以上 <ステップ2>（追加リスク数の判定、①～④は主な指標を記載） 追加リスクの該当数により「動機付け支援」「積極的支援」を判別 ①空腹時血糖 100mg/dl以上 又は HbA1c 5.6%以上 ②空腹時中性脂肪 150mg/dl以上 又は HDLコレステロール 40mg/dl未満 ③収縮期血圧 130mmHg以上 又は 拡張期血圧 85mmHg以上 ④喫煙歴 あり、なし

5 特定健康診査受診率向上事業

目的	特定健診未受診者の健康意識の向上を図り、特定健診を受診するようになることで、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげる。併せて、継続受診者の受診率を上げる。
対象者	国民健康保険加入者うち特定健診対象者（40歳～74歳） ①過去5年間に一度も特定健診を受診していない者 ②年度途中で国民健康保険に新規加入した者 ③過去5年間の間に特定健診を受診した者で、当該年度に未受診の者